

安全データシート (SDS)

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名

GA-L 管理血清 L、H

会社情報

供給者の会社名称

旭化成ファーマ株式会社

担当部署

診断薬製品部

住所

〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目 1 番 2 号

電話番号

03-6699-3617

Fax 番号

03-6699-3688

電子メールアドレス

shindan@om.asahi-kasei.co.jp

緊急連絡電話番号

03-6699-3617

推奨用途

ルシカ GA-L 専用管理血清

使用上の制限

上記の用途以外の使用はしない。

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

分類できない

健康有害性

分類できない

環境有害性

分類できない

GHS ラベル要素

絵表示

なし

注意喚起語

なし

危険有害性情報

該当しない

注意書き

該当しない

他の危険有害性

本品は HBs 抗原、HIV 抗体、HCV 抗体が陰性であることが確認されているが、未知のウイルス等の存在が否定できないため、感染性物質として、血液と同様に十分注意をして取り扱うこと。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

情報なし

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学物質

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
処理ヒト血清	-	-	100

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合	新鮮な空気の場所に移動し、十分にうがいをさせ、直ちに医師の診断を受ける
皮膚に付着した場合	付着部または接触部を、多量の水で十分に洗い流す。 エタノールや洗浄液で洗浄する。 かゆみ、炎症等の症状が出た場合は速やかに医師の診断を受ける。
眼に入った場合	直ちに清潔な水で、15 分以上洗い流す。異常があれば、眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球のすみずみまで、水がよくいきわたるように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続ける。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄する。可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させる。
衣類に付着した場合	症状があるときは、医師の手当てを受ける。 衣類に付着した場合には、皮膚に付着しないように衣類をとり、普通に洗浄する。

急性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

特になし

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧、粉末消火薬剤

使ってはならない消火剤

情報なし

火災時の特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

消火作業は可能な限り風上から行う。

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な処置をする。

初期消火には、水、粉末消火剤を用いる。

大規模火災の場合は、耐アルコール泡で一挙に消火する。

容器周辺が火災のときは、容器を安全な場所に移動する。移動ができないときは、容器に水を注水して冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

呼吸用保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

感染性物質として取り扱う。作業の際には保護具を着用し、粉末や調製液などが皮膚に付着したり、粉じんを吸入しないように注意する。

環境に対する注意事項

取扱い時は、細心の注意を図り、大量の製品飛散、流出を防ぐ。

製品を多量に含んだ排水が、直接河川等に排出されるなど環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

粉末は飛散したものを真空中で吸い取るなどして集め、密閉できる空容器に回収する。

調整後の液の場合、ウエス、雑巾、紙等にて回収する。

感染性廃棄物質として廃棄するか、滅菌後、一般廃棄物として廃棄する。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

本品は、本品は HBs 抗原、HIV 抗体、HCV 抗体が陰性であることが確認されているが、未知のウイルス等の存在が否定できないため、感染性物質として、血液と同様に十分注意をして取り扱うこと。

吸湿を防ぐため、冷暗所（2～8℃）より製品を取り出す場合は、容器中の製品が室温に戻ったことを確認の上、開栓する。

吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように適切な保護具を着用する。

安全取扱注意事項

湿気のない、できるだけ換気の良い場所で取り扱う。
また、取り扱い場所の近くに、洗眼・手洗いをを行うための設備を設置する。取り扱い後は手洗を励行する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、また引きずるなどの粗暴な扱いをしない。

接触回避

高温多湿および吸湿に注意

衛生対策

取り扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

保管

技術的対策

特になし

混触禁止物質

特になし

保管条件

容器は直射日光を避け、冷暗所（2～8℃）で保管する。
感染性物質として、他のものと明確に区別して保管すること。

安全な容器包装材料

特に指定なし

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）

ACGIH TLV-TWA (2021)

3 mg/m³（その他の不溶性のレスピラブル粒子）

10 mg/m³（その他の不溶性のインハラブル粒子）

ACGIH TLV-STEL (2021)

設定されていない

日本産業衛生学会（2020）

2 mg/m³（第3種粉塵（その他の無機および有機粉塵）（吸入性粉塵））

8 mg/m³（第3種粉塵（その他の無機および有機粉塵）（総粉塵））

設備対策

取り扱い場所の近くに、洗眼・手洗い設備や安全シャワーを設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸用保護具	必要に応じて防塵マスク
手の保護具	必要に応じて保護手袋
眼及び/又は顔面の保護具	必要に応じて保護メガネ
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣、保護長靴

特別な注意事項

情報なし

9 物理的及び化学的性質

物理状態	固体（粉末（凍結乾燥品））
色	無～薄黄色
臭い	なし
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発限界及び爆発上限界／可燃限界	該当しない
引火点	該当しない
自然発火点	該当しない
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	該当しない
溶解度	水に易溶、有機溶剤には難溶
<i>n</i> -オクタノール／水分配係数（log 値）	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度	情報なし
相対ガス密度	該当しない
粒子特性	情報なし

10 安定性及び反応性

反応性	冷暗所（2～8℃）で1年間
化学的安定性	冷暗所（2～8℃）で1年間
危険有害性反応可能性	自己反応性なし
避けるべき条件	高温多湿および吸湿に注意
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	該当しない

11 有害性情報**製品の有害性情報**

急性毒性（経口）	情報なし
急性毒性（経皮）	情報なし
急性毒性（吸入：ガス）	情報なし

急性毒性（吸入：蒸気）	情報なし
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	情報なし
誤えん有害性	情報なし

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

特別管理産業廃棄物として処理する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海上輸送（IMO の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない

国連分類（輸送における危険有害性クラス）	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質（該当・非該当）	非該当
IBC コード（該当・非該当）	非該当
航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）	
国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
航空規制情報	該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

冷蔵（2～8℃）。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化学物質排出把握管理促進法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物劇物取締法	該当しない

16 その他の情報

参考文献

旭化成ファーマ株式会社提供資料

NITE GHS 分類結果一覧（2021）

日本産業衛生学会（2020）許容濃度等の勧告

ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2021) TLVs and BEIs.

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意下さい。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。